

第4回 新市立伊勢総合病院建設基本計画策定委員会  
議 事 録(要旨)

平成24年9月19日

#### 第4回 新市立伊勢総合病院建設基本計画策定委員会

日時 平成24年9月19日(水) 午後7:00～午後8:30

場所 伊勢市役所 東庁舎4-2会議室

委員出席者 伊佐地秀司委員、松本純一委員、畠中節夫委員、寺本喜宥委員、  
渡辺和己委員、鈴木まき委員、松下裕委員、藤本昌雄委員  
以上8名

委員欠席者 福田幸弘委員

事務局	市立伊勢総合病院	副院長	原 隆久
	市立伊勢総合病院	副院長	池田 健
	市立伊勢総合病院	理事	西井正美
	市立伊勢総合病院	事務部長	佐々木昭人
	市立伊勢総合病院	総務課長	下村浩司
	市立伊勢総合病院	総務課副参事	今西清貴
	市立伊勢総合病院	総務課副参事	成川 誠
	市立伊勢総合病院	総務課主査	北村 守
	市立伊勢総合病院	総務課管理係	橋村俊也
	市立伊勢総合病院	医療事務課長	酒井幸久
	市立伊勢総合病院	健診センター室長	富山孝久
	市立伊勢総合病院	栄養管理課長	梶原好美
	健康福祉部長		山本辰美
	健康福祉部次長		鈴木正人
	健康課長		岩佐 香
	都市整備部長		宮田重和
	都市整備部参事		谷口 尚

議事録署名 松下委員・畠中委員(議長指名)

会 議 状 況

○司会進行 事務局

○議事(1) 今後のスケジュールについて

(資料1)「新市立伊勢総合病院建設基本計画策定委員会スケジュール変更(案)」に基づき、事務局説明

**議長** スケジュール変更案について、策定委員会の開催回数は当初の予定よりも、3回増える予定である。最終の第8回目は来年3月中旬に予定して

いる。

**委員**・ 次回は建設候補地の検討、第 6 回は建設地の検討と表記されているが微妙な言い回しの違いは何か。

**事務局** 前回の策定委員会で建設地の基本的な考え方を示したが、エリアを何カ所か抽出し、これらをいくつかに絞る。それから、絞ったエリアの中から何カ所か候補地を絞り込み、最終的に建設地を 1 カ所に絞っていきたいという趣旨である。

**委員**・ 各候補地のメリットやデメリットに関する調査依頼を行えば、次回の策定委員会までに調べてもらえるのか。

**事務局** 指摘事項にもよるが次回までに提示できるよう努力する。

**結論** 特に反対意見が無いため、事務局提案の策定委員会スケジュール変更(案)については了承とする。

#### ○議事(2) 新病院建設地(候補エリア)について

(資料 2)「新市立伊勢総合病院の建設地の選定について」に基づき、事務局説明

**議長** 候補地が 8 カ所あるが、各候補地に関する意見はあるか。

**委員**・ 市街地エリアは道路の混雑が問題となる。新病院建設はそのようなことが無いように慎重を期すべきである。

**委員**・ 消防署の移転計画はどのようになっているのか。

**事務局** 消防署の移転計画では、倉田山防災公園周辺が予定されている。

**委員**・ 新病院の建設候補エリアの絞り込みは誰が行うのか。

**事務局** 策定委員会での意見を踏まえ、市が絞り込みを行う予定である。

**委員**・ 病院建設に必要な土地確保の見込みはあるのか。

**事務局** 一定程度の候補地を想定し、検討している。現段階ではエリアという考え方をしているため、地権者との交渉はまだ行っていない。

**委員**・ 利便性と安全性が主な条件だが、土地確保の難易度は現実的な部分としてどうなのか。

**事務局** 今日示しているのは第 1 段階の候補エリアであり、本日の意見を踏まえて第 2 段階で土地確保の実現性について検討を進めたい。

**委員**・ 候補エリアを示されただけでは、具体的な場所のイメージが湧かないため、8 候補エリアといわれても具体性に欠けている。

**事務局** 今回は第 1 段階であるが、次回委員会では指摘箇所の修正と記載すべき項目を記載した資料を提出する。

**委員**・ 8 つの候補エリアの中で一定程度の土地が確保できることが前提と考えてよいのか、はっきりしてもらいたい。

**事務局** 所有者との交渉次第であるが、そのとおりである。

**委員**・ 1 つに絞り込むのではなく、優先順位をつけたほうが良いのではない

か。

**事務局** 第２段階で数箇所にとり込んだ後、さらにとり込む予定である。本日は検討過程に関する意見をいただきながら、最終的に市が決めることになる。

**議長** ８つの候補エリアについて意見を聞いていく。

- 委員**
- ・ 明野駅周辺、宮川駅周辺、小俣駅周辺は、いずれも宮川左岸に位置している。地震発生時に橋が使用できるかどうかが問題である。新病院が防災拠点になることを想定すると、患者の搬送経路が減少する候補エリアは厳しい。
  - ・ 市民から人口重心に近い位置を候補エリアとして設定するべきとの意見が出てくる可能性がある。
  - ・ 宮町駅周辺、伊勢市駅周辺は、伊勢赤十字病院と近いことから、新病院を建設することで両病院へのアクセスが集中し、交通渋滞がさらに悪化する可能性がある。
  - ・ 五十鈴川駅周辺は、現病院と同じエリアであり、駅に近く、市街地から少し離れており、また伊勢赤十字病院との位置関係も患者の分散につながる。
  - ・ 倉田山防災公園周辺は、市街地から少し離れており、また伊勢赤十字病院との位置関係も患者の分散につながる。
  - ・ アリーナ周辺は、大規模イベントが開催された場合、救急車の経路の障害になる可能性がある。また、伊勢市街地から距離が遠い。

**結論** 五十鈴川駅周辺、倉田山防災公園周辺は、交通アクセス、救急車経路などに関して主だった問題があまりない。他の候補エリアはそれぞれに問題がある。以上、策定委員会の意見として報告をお願いしたい。

### ○議事（３）新病院部門別計画、医療情報システム等整備計画について

（資料３）「部門別基本計画、医療情報システム・物品管理システム・医療機器整備計画について」に基づき、事務局説明

**議長** 新病院において新規で設置する部門はどれか。

**事務局** 新病院での新規設置部門は、患者支援センターおよび教育支援センターである。また、既存設置部門についても、臨床工学室の機能拡充によるMEセンターへの改称や内視鏡部門の機能強化、リハビリ部門と病棟の連携強化、栄養管理部門における調理方式の変更、物品供給機能の充実、健診センターの拡充など、各部門の強化を図る方針である。

- 委員**
- ・ 人工透析室が外来部門に包括して記載されているが、透析患者のニーズは高い。他部門と同じレベルと捉え、運営方針を整備することが望ましい。
  - ・ 診療科別の原価計算ができるシステムの導入を検討して頂きたい。

- ・ 医療機器の整備は新病院への切替えを考慮し、ロスのないように計画して頂きたい。
- ・ 患者支援センターは大学でも評判が良く、開業医からの評価も高い。

**議長** 電子カルテを含めた医療情報システムの導入は、現病院から行うのか、または新しい病院から行うのか。

**事務局** 10月から経営企画室を立ち上げ、経営効率化の推進と共に、情報ネットワークの導入も合わせて考える。費用だけを考えれば、電子カルテは新病院開院時に導入することが効率的であるが、現病院においても医療情報システムの充実を図る必要がある。導入時期については、経営企画室で検討したい。

- 委員**
- ・ いきなり全てを電子化すると職員が戸惑ってしまい、電子カルテが機能なくなる。電子カルテの導入は今の段階から考えた方が良い。
  - ・ 人材がいなければ、素晴らしい病院計画であっても機能しない。人材の配置計画を新病院に向けて作ってほしい。

**事務局** いくら良い計画を作っても、それを実行できる人材がいなければ意味をなさない。この4月から院長が大学などとコネクションをつくり、事務部門も一体となって全国公募で医師や看護師を集め始めている。あと1～2年、結果が出るのを見てもらいたい。

- 委員**
- ・ 外注する部門について、どのように考えているのか。今でも医療事務業務等は外注していると聞いている。

**事務局** 人的委託で一番大きいのは医療事務業務委託であるが、人材の確保を考えると委託ではなく病院職員として対応すべき部分もある。また、市の職員が病院へ出向しているが、長期的には病院採用のプロパー職員を確保したい。

- 委員**
- ・ 調理部門は直営か。

**事務局** 一般食を委託し、特別食のみ病院職員で対応している。

- 委員**
- ・ 物品管理の運営はどうか。

**事務局** 専門業者に委託している。

**結論** 部門別計画等については了承し、人工透析部門を付け加えることとする。

**事務局** 次回の策定委員会は10月16日（火）19時から開催とする。※

**議長** 本日はこれにて終了とする。

<閉会>

※ 次回の策定委員会が10月16日（火）19時開催となっておりますが延期となりました。